

別紙様式 45

回復期リハビリテーション病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数
等に係る報告書

| | |
|----------|--|
| 保険医療機関名 | |
| 郵便番号 | |
| 住所 | |
| 報告年月日 | |
| 直近の報告年月日 | |

1. 退棟患者数

| ① | | () 月 | () 月 | () 月 | () 月 |
|---|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| ② | 前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |

2. 1日当たりのリハビリテーション提供単位数

| ① | | () 月 | () 月 | () 月 | () 月 |
|----|---|---|-------|-------|-------|
| ③ | 前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟に入院していた回復期リハビリテーションを要する状態の患者の延べ入院日数 | 日 | 日 | 日 | 日 |
| ④ | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された疾患別リハビリテーションの総単位数（i + ii + iii + iv + v） | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| 再掲 | i | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された心大血管疾患リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 |
| | ii | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された脳血管疾患 | 単位 | 単位 | 単位 |

| | | | | | | |
|---|-----|--|----|----|----|----|
| | | 等リハビリテーションの総単位数 | | | | |
| | iii | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された廃用症候群リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| | iv | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された運動器リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| | v | 前月までの6か月間に③の患者に対して提供された呼吸器リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⑤ | | 1日当たりのリハビリテーション提供単位数（④／③） | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |

3. リハビリテーション実績指数

| | | | | | |
|---|---|------|------|------|------|
| ① | | ()月 | ()月 | ()月 | ()月 |
| ⑥ | 前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑦ | ⑥のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑧ | ⑦の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和 | 名 | 点 | 点 | 点 |
| ⑨ | ⑦の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和 | 名 | 点 | 点 | 点 |
| ⑩ | リハビリテーション実績指数（⑧／⑨） | | | | |

4. 除外患者について（届出の前月までの6か月について以下を記入する。）

| | | | | | | |
|---------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ⑪ 届出の前月までの6ヶ月 | ()月 | () | () | () | () | () |
|---------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|

| | | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 |
|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ⑫ 入棟患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑬ 高次脳機能障害患者が退棟患者数の４０％以上であることによる除外の有無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| ⑭ ⑬による除外がある場合は除外後の入棟患者数（⑫が有の場合のみ） | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑮ リハビリテーション実績指数の計算対象から除外した患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑯ 除外割合 （⑮÷（⑫又は⑭）） | % | % | % | % | % | % |

５．高次脳機能障害患者が４０％以上であることによる除外について（⑬が有の場合には、それぞれ⑪の７か月前から前月までの６か月間の状況について記入。）

| ※（ ）にはそれぞれ⑪の前月を記載 | （ ）月までの ６か月 | （ ）月までの ６か月 | （ ）月までの ６か月 | （ ）月までの ６か月 | （ ）月までの ６か月 | （ ）月までの ６か月 |
|-------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ⑰ ６か月間の退棟患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑱ ⑰のうち、高次脳機能障害の患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑲ 高次脳機能障害患者の割合 （⑱÷⑰） | % | % | % | % | % | % |

６．前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施
(あり ・ なし)

[記載上の注意]

1. ①については、毎年7月に報告する際には、前年10月、当該年1月、4月及び7月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で1月、4月、7月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。
2. ②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。
3. ④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されたものを除く。
4. ⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。
5. ⑮の除外患者数は、入棟日においてFIM運動項目の得点が20点以下若しくは76点以上、FIM認知項目の得点が24点以下、又は年齢が80歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したのものに限る。
6. ⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は $\text{⑮} \div \text{⑭}$ 、「無」の場合は $\text{⑮} \div \text{⑫}$ とする。
7. ⑰は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。
8. ⑬、⑱、⑲の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して180日以内まで算定できるものに限る。
9. 「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを○で囲むこと。